

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高宏ニュース

No.932

12.10.24

## 寒い季節にむかっています

雨あがりの昨夜は、ちょっと冷え込みました。朝のしんぶん配達では、だいぶ重ね着をするようになりましたが、それに比べ昼間はまた、うす着です。季節の変わり目です。体調には十分気をつけましょう。

## 11年度決算委員会報告



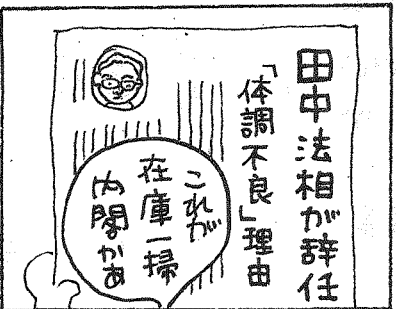
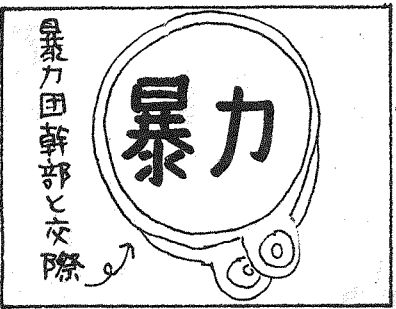
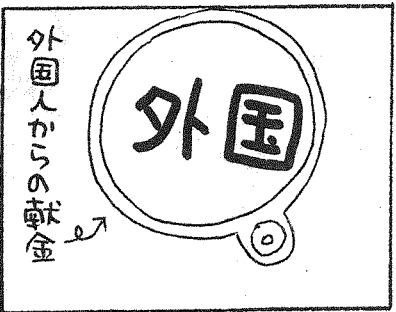
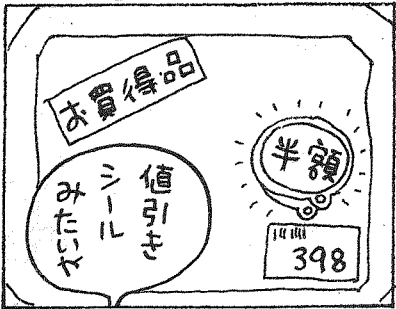
10月10日と18日のうち5日間、公営企業（水道）を除く一般・特別会計の決算特別委員会が開かれ、日本共産党は、松坂議員と、私、ひめだが委員でした。

## 啞然？貧弱な教育予算

市立和歌山高等学校

厳しい財政状況のもと、適正な予算編成とその執行が求められています。11年度は一般会計・特別会計合わせて54億5618万7千円の不用額と56億9560

## フリーの人々



万6千円の翌年度繰越額となつていきます。不用や繰越のすべてを否定するものではありませんが、その中にはへんなものがありました。

市立和歌山高等学校の施設整備費の150万円の予算から78万円の不用額が出た理由を聞くと、当初、空調設備のための予算を計上したものの家庭科調理室のガスオーブンが壊れて授業

ができなくなり急ぎよ取り替えたとのこと。壊れたがスオーブンの72万円の予算措置ができず、空調設備の予算で対応。結局、空調設備の工事をせず不用額としたとの説明。教育費全体の不用額は4億5354万円。

予算とともに組織も硬直化しているようです。

## こんにちは

日本共産党の

# ふじい健太郎

です。

(その342)

先だ、でも連絡先を聞いてくわいて、近くの人だったので、再度相談所にきてもらって、話を聞きました。

生活相談所に詰めていくと、いろんな人が訪ねてきます。顔だけ見に来る人、ジュースの差し入れをもってくる人、ときどき来て世間話をして帰る人、ほんとうに相談ごとがあ、ってくる人などにぎやかです。

月曜日から金曜日の午前中を開けているわけですが、誰も来ない日はほとんどありません。

できたら一日中開けておきたいわけですが、人手が足りません。相談にのれなくても、電話が聞けて連絡先をメモしてくるだけでもOKです。



ふじい健太郎 前県会議員

市営住宅に住んでいる人で、同居していた認知症の母が亡くなり、その母の年金頼りの生活だったので、あと手元に6万円しか残っていない、とうしたらいいかという話でした。59才の男性ですが、見るからに病気がありそうなので、その日のうちに生活保護の申請をし、病院での検査を予約しました。これから生活の自立をめざしてフォローしていきます。

# 通学路の安全対策について

その2

前号で、文部科学省から通学路における緊急合同点検状況の報告を求められた市・教育委員会の報告が、市内の通学路の危険箇所が23箇所というもので、少なすぎないか?との記事と掲載しました。

文部科学省のホームページには、京都・千葉・愛知で登校中の児童等の列に車が突っ込み、死傷者が出た

事故から、4月27日、5月30日に各県・市に対し通学路の交通安全の確保の徹底に関する文書を出したこと

や通学路の点検及び危険箇所への把握・抽出にあたっての観点を示し、保護者や警察、自治会などの関係者の間で共通認識を得ておくべき事項としています。

市・教育委員会が各地の死傷事故が出た時点で

## くにしげは 日本共産党



日本平和委員会の「平和新聞」編集長、布施祐仁さんの講演「そのけそのけ自衛隊が通る! 災害派遣の裏側で」を聞きました。

布施氏は「アメリカは日本を守るために血を流す。自衛隊も共に血を流す」ハ米シンクタンクなどという日米軍事同盟のもとでのアメリカの対日要求や自衛隊の隊内教育、学校での職場体験学習などで国民への浸透を図っている内容などにふれて、自衛隊の実像を詳しく語ってくれました。



くにしげ 秀明 (衆院1区)

在日米軍の任務は日本を守るためではなく、オスプレイ配備にみられるように世界戦略によるものです。自衛隊が米軍との共同作戦に参加しないよう、厳しい監視と運動が必要です。

た「調査」がこじつけた観点で実施されたのかどうか、保護者や自治会などの意見を聞いたものなのかなどが問題です。

消費税・原発・震災復興・TPP  
日米安保・憲法も考える  
**日本共産党 演説会**

11月6日(火) 19時~  
ダイワロイネットホテル4階ホール

小池 晃 衆議院議員  
日本共産党政経委員長  
くにしげ 秀明

井土

## ぶらぐりー 設置 場外馬券市場 業者が市に計画提示

10月12日(金)市の総務公室政策推進部企画課より、各会派あてに「地方競馬場外馬券投票券発売所」(仮称)DASH和歌山「設置」に関する資料提供について、という文書が届きました。事業計画書を市に提示した(株)キャンターは、兵庫県競馬組合の認定を受け、ぶらぐりープリズビルに場外馬券売場の設置を推進し、

本町地区第4区と本町地区連合自治会の同意を得ているとされています。年間発売日数は210日、営業時間は10~17時30分、ナイター実施の4~11月は14~21時、1日1千人の入場で、年間8億7千万円の売上を見込んでいるとのこと。9月14日、5日自治会から議長あてに設置反対の要望書が提出されています。

## 中小企業の技術力・地域力

10月19日(金)市民会館小ホールで、和歌山演劇鑑賞会10月例会、劇団銅鑼公演「はい、奥田製作所」を見ました。舞台は、現代。東京・大田区の機械金属工場、従業員や地域とのつきあいを大切にしている職人気質の社長が倒れ、大企業に勤めていた息子が社長となり、

そりまでのやり方を大きく変えようとしています。そして、次第に職人気質の親父社長を慕う従業員、夫婦間にもヒビが入り...というような物語でした。息子社長の高校時代の回想が所々に入り、初心に帰ることでハッピーエンドを迎えるという結果的には、ホッとできた芝居でした。めでたし、めでたし。